

■ 9月定例会の日程

3日	本会議〔会期の決定、諸般の報告、議案説明、質疑、討論、採決、一般質問など〕 決算審査特別委員会
6日	本会議〔一般質問〕
7日	本会議〔一般質問〕
8日	総務委員会
9日	経済委員会
10日	文教委員会
14日	決算審査特別委員会 議会運営委員会理事会 議会運営委員会
15日	決算審査特別委員会
16日	決算審査特別委員会
17日	決算審査特別委員会
24日	本会議〔委員長報告、議案・意見書案説明、質疑、討論、採決など〕

■ 歳出  
● 総務費

AI活用事業

**問** AIを活用した総合案内サービスの利用状況は。

**答** 令和2年度中の月平均では、質問数が829件、回答率が79・5%、AIが判断した正答率が86・6%となっている。

**問** 回答内容の改善のため、どう対応しているのか。

**答** 毎月のログ解析を基に回答率、正答率、どういった質問にどう回答しているかなどを確認し、各課に新規のQ&A作成を依頼する

など回答改善に努めている。  
**問** どういった部分で業務改善に寄与しているか。

**答** AIを活用した総合案内サービスは24時間365日、インターネット上で住民からの問合せに対応している。開庁時間外での問合せが可能となり、迅速な対応により住民の利便性が向上する。また、自動応答であるため、業務効率化に寄与している。

● 民生費

市内旅館・ホテル利用券等配布事業

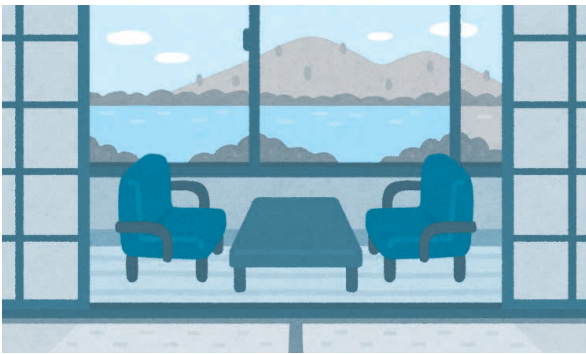
**問** 事業費の概要と実績に

ついて伺う。

**答** 新型コロナウイルスの感染拡大による、高齢者の外出の自粛疲れを癒やすとともに、営業を自粛している旅館やホテル等が活気を取り戻すことを支援するものである。

令和2年度中に65歳以上となる全高齢者を対象に、市内のホテルや温泉旅館で利用できる利用券4000円分、同時期に実施されたプレミアム付商品券6000円分の合計1万円分を配布した。

実績として、配布対象者は2万4106名で、ホテ



ル・旅館の利用券は7204万9千円の利用額、使用割合は74・72%だった。商品券は1億3872万7500円の利用額、使用割合は95・91%だった。

● 衛生費

レディースミニドック事業

**問** 事業実績について伺う。

**答** レディースミニドックは35歳から39歳の女性市民を対象として、血液検査が行えるヤングエイジ健診、子宮頸がん検診、HPV検査、超音波検査による乳がん検診及び骨粗しょう症検診が一度に行えるセットの集団健診であり、令和2年度はコロナ禍で受診が制限されたことに伴い、実施回数11回、受診者数141名であった。

**問** 事業評価について伺う。

**答** ヤングエイジ健診やがん検診などをセットで受けられるようにして、通常では複数の医療機関を訪れて受診しなければならぬが、レディースミニドックのセット健診で気楽に受診できる環境が整ったと考えている。まずは気軽に受診し、

若い頃から自己の健康状態を意識し、健康管理と毎日の生活習慣の改善につなげることが重要と考える。今後も継続して実施していきたい。

● 商工費

竹島水族館維持管理事業

**問** 昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により入場者数が減ったと思われるが、どうか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、昨年度年間総入館者数は16万9785人となった。一昨年度の実績は38万4959人だ



竹島水族館